




品川区精神保健福祉家族会

かもめ会だより

 9月16日 かもめ会が みんな集まれふくしまつり に参加します

障害のある人もない人も一緒に楽しもう！

みんな集まれ！ふくしまつり 2023&パラスポーツチャレンジデー

日時 2023年9月16日（土）10時00分頃～15時00分

会場 品川区立中小企業センター&しながわ中央公園多目的広場・庭球場

4年ぶりのふくしまつりが開催されます。かもめ会は中小企業センター2階の渡り廊下部分に机をもらい2つのコーナーを開設します。

- ① 精神保健福祉士2名によるよろず相談コーナーを開設します。8050問題、遺言や相続、依存症、後見制度、ひきこもり、お金のこと、グループホーム、家族のコミュニケーションなんでも相談してください。
- ② また、フォトグラファーによる家族写真撮影特設ミニスタジオ?を開設し記念写真を撮影いたします。チェキで撮ってその場で出来上がった家族写真を持ちかえていただきます。ご家族連れでおいでください。無料です。福祉まつりのチラシを同封いたします。



 10月24日（火）にかもめ会講演会を きゅりあん で行います



題名 東京都における精神の保健・医療福祉の動向

-当事者家族として、こころの病に寄り添っていくために-

講師 東京都中部総合精神保健福祉センター所長 熊谷直樹先生（精神科医）

日時 2023年10月24日（火）14:00～16時

会場 品川区立総合区民会館 きゅりあん 6階 大会議室（品川区東大井5-18-1）
JR京浜東北線大井町駅中央口駅前

申込 かもめ会 庄田（03-6768-4797）または shoda3@east.cts.ne.jp へ
かもめ会講演会のチラシを同封いたします。

 7月12日 精神保健家族勉強会開催報告

ソーシャルワーカーの実際の役割や家族が病院へ求めることと実際の病院の役割の違い、そして本人の自立に向けて家族が具体的にできることについて、ご講演頂きました。今回は「病院におけるソーシャルワーカーの役割について」のテーマで、東京都立大塚病院 患者・地域サポートセンター患者支援グループ 磯部祥子様からお話を聞きました。（荏原保健センター 渡邊様、谷山様）



8月24日 かもめ会おしゃべり会（2回目）の報告

日時 8月24日（木）12：30～14：00に実施

会場 レストラン DON CONA CONERY ドンコナコネリー五反田



8月のおしゃべり会には自民党、公明党の議員さんのご参加を要請しましたが、「議会活動と重複するため参加できない」とのご連絡がありました。

そのため、緊急に公認心理士の松坂寛之さんにご連絡を差しあげ、日程調整が叶いましておしゃべり会にお招きすることができました。松坂さんは4月の区議選で立候補予定者として、かもめ会が行ったアンケートに下記の回答を寄せてくださいました。

約10年間、精神医療に携わってきた経験から、個々の支援ではできることが限られていると
思い立候補を決意しました。従って、精神疾患の周知と健常者とのコミュニケーションを第一に
相互理解を深め、その上で精神障害者の社会参加とマンパワーの支援が重要だと思っております。
区議会の中に理解が深まるよう、発言・発信をしていきたいと考えております。

松坂さんの決意を読んで、私は大いに期待しました。そして4月25日の役員会で「松坂さんにも、かもめ会の要望をお知らせして相談ができる方だと思うのでお話を聞く機会を作ってほしい」と意見を述べて、8月24日に実現しました。

< 松坂さんの重要政策（一部抜粋して紹介） >

①保育士・介護士の処遇改善で やりがい向上虐待ゼロ

②心理療法やカウンセリングに区独自の補助金を提案

- * 政治や行政に住民参加を * 主権者教育推進を働きかけます
- * 子どもは私たちの宝 ビジネスの対象ではない
- * 子育て支援は補助金政策以上にマンパワー拡充政策で育児サービス利用促進策を
- * 教職員の負担を減らし 一人一人の教育の充実を
- * 今だけ・カネだけ・自分だけ良ければよいという風潮を打破します
- * 効率や利潤追求の民間的発想だけではなく、公務員や公的機関の役割を見直し尊重を
- * 科学的・医学的根拠に基づき、政治の責任の元、コロナ規制緩和と
感染症対策のメリハリをつけ医療崩壊と社会の弱体化を防ぎます

松坂さんにご相談したかったことは、精神疾患10年以上になるわが子の気持ちです。

「薬を飲み続けても回復しない。誰かに話を聞いてほしい。専門家のアドバイスが欲しい。心にある

トラウマやストレスをほぐしてほしい」など悩んでいました。どうすれば、カウンセリングを受けることが可能になるか、一歩前に進みました。松坂さんには2人の小さなお子さんがいて、子育て支援政策でも人を大切にする社会の姿をソフトに語りかけています。

これからも、どうぞご協力をお願いします。おしゃべり会には13人が出席しました。

時間が足りないくらいご意見をいただきましたが、掲載できず申し訳ありません。 千葉利江



8月24日 池袋防災館で命の守り方を体験しました

今年度初めてのかもめ会施設見学会を池袋で行いました。池袋防災館（都民防災教育センター）で、地震の揺れの体験を中心に、初期消火など、防災に関する知識や技術を学びました。

日時 2023年8月24日(木)11時00分頃～11時50分（ショートコース参加）

会場 池袋防災館（東京消防庁池袋都民防災教育センター）

防災体験施設の見学会に参加して

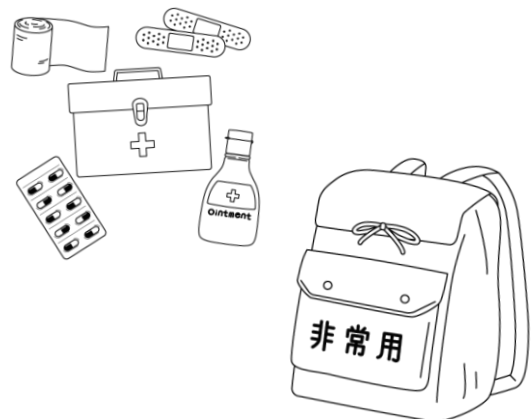
かもめ会主催の防災教室が東京都消防庁池袋防災館で行われ参加しました。始めに「東日本大震災」の一部を記録した映像が上映され、その大規模な地震と津波の被害の実情を観ることが出来ました。その上で、地震を体験するという順序でした。

3メートル四方の床が特設された場所に入り、ガイドの方が震度の大きさを調節するスイッチを押して揺れを発生させるというものでした。その床の上には、しっかりとした脚のついたテーブルが置かれており、ガイドの方の指示に従い、テーブルの下に潜って頭を護り両手でテーブルの脚をしっかり掴みます。すると揺れが始まり、震度が徐々に上がってゆきました。震度5程度では、結構揺れるという感じていましたが、震度7になった時は、それまでの脚の掴まり方では手を離しそうになり、必死の思いで脚にしがみつきました。震度7は、それまでの揺れとは別格だったのです。

しかし、ガイドさんの話では、「現在の装置はビルの中にある為、縦揺れは発生させられない」とのことでした。又、「現実には、縦揺れの外に津波が加わりました」と説明がありました。

横揺れだけでも生命の危険を感じる程の恐怖を感じるのに、これに縦揺れと津波が加わったらと思うと、想像を絶する恐怖を感じました。以上の体験を経て、わが家の地震対策を真剣に考えなければと痛感した次第です。

未経験の方は是非、一度体験されることをお勧めします。 副会長 横田信子





9月13日（水）精神保健家族勉強会の開催のお知らせ（再掲）

日時 2023年9月13日（水） 13時30分～15時30分（荏原保健センター主催）

会場 荏原保健センター 仮移転先 多目的室 品川区西五反田 6-6-6

内容 「精神科医療」について

皆様のご参加をお待ちしています。参加希望の方は、荏原保健センター ☎03-5487-1311 保健担当にお電話ください。なお、荏原保健センターの改修工事のため今回の勉強会から会場が西五反田に移転いたしました。会場は下図参照（渡邊保健師さん）

荏原保健センター「仮移転先のご案内」 仮移転期間：令和5年7月18日（火）～令和8年5月（予定）



荏原保健センター

品川区西五反田6-6-6 ☎03-5487-1310

- JR 山手線 五反田駅 西口 徒歩15分
- 東急池上線・都営浅草線 五反田駅 徒歩15分
- 東急目黒線 不動前駅 徒歩7分
- 東急池上線 大崎広小路駅 徒歩10分